

第 7 1 5 回建設技術講習会 現場研修事業の概要

1 国道138号山中湖自転車歩行者道整備事業〔関東地整〕

- ・山中湖自転車歩行者道は、湖畔を一周する全長約14kmの自転車歩行者道で、唯一未整備となっている国道138号区間の延長約2kmについて、歩行者及び自転車利用者の交通安全対策として平成24年度から事業着手している。
- ・山中湖は世界文化遺産「富士山」の構成資産の一部であるため、周辺環境との調和を考慮した設計が求められている。
- ・整備が進められることで、歩行者や自転車利用者の安全性が向上し、観光客や地域住民にとってより快適な移動環境が提供されることが期待されている。

…………… 山梨県南都留郡山中湖村



2 新山梨環状道路（東部区間・Ⅱ期）整備事業〔山梨県〕

- ・新山梨環状道路は、甲府都市圏における交通の円滑化と、周辺地域の連携強化などを目的とした全長約43kmの環状道路。このうち東部区間は、延長約7kmの4車線道路として計画されている、山梨県が事業主体の大規模プロジェクトである。
- ・本事業により、周辺の幹線道路に集中している交通が分散し、混雑の緩和が見込まれる。
- ・現在、長大橋梁や連続高架橋、大規模盛土などの土木構造物を施工中であり、建設現場における生産性の向上を目的としたICT技術を積極的に活用している。

…………… 山梨県甲府市・笛吹市



3 西嶋和紙の里道の駅整備事業〔身延町〕

- ・「西嶋和紙の里」は、紙すき体験や食事等ができる施設として平成10年にオープンしたが、コロナのまん延により利用客が減少、ブランディングの再構築が必要となっていた。
- ・農産物直売所の新設や屋外キッズスペースの新設等の改修を進め、「道の駅にしじま和紙の里かみすきパーク」として道の駅に登録、令和7年4月に再オープンした。
- ・紙すき体験のほか、特産品「あけぼの大豆」を使った食事提供等により、地域の活力となる拠点として好循環を生み出すことが期待されている。

…………… 山梨県南巨摩郡身延町

